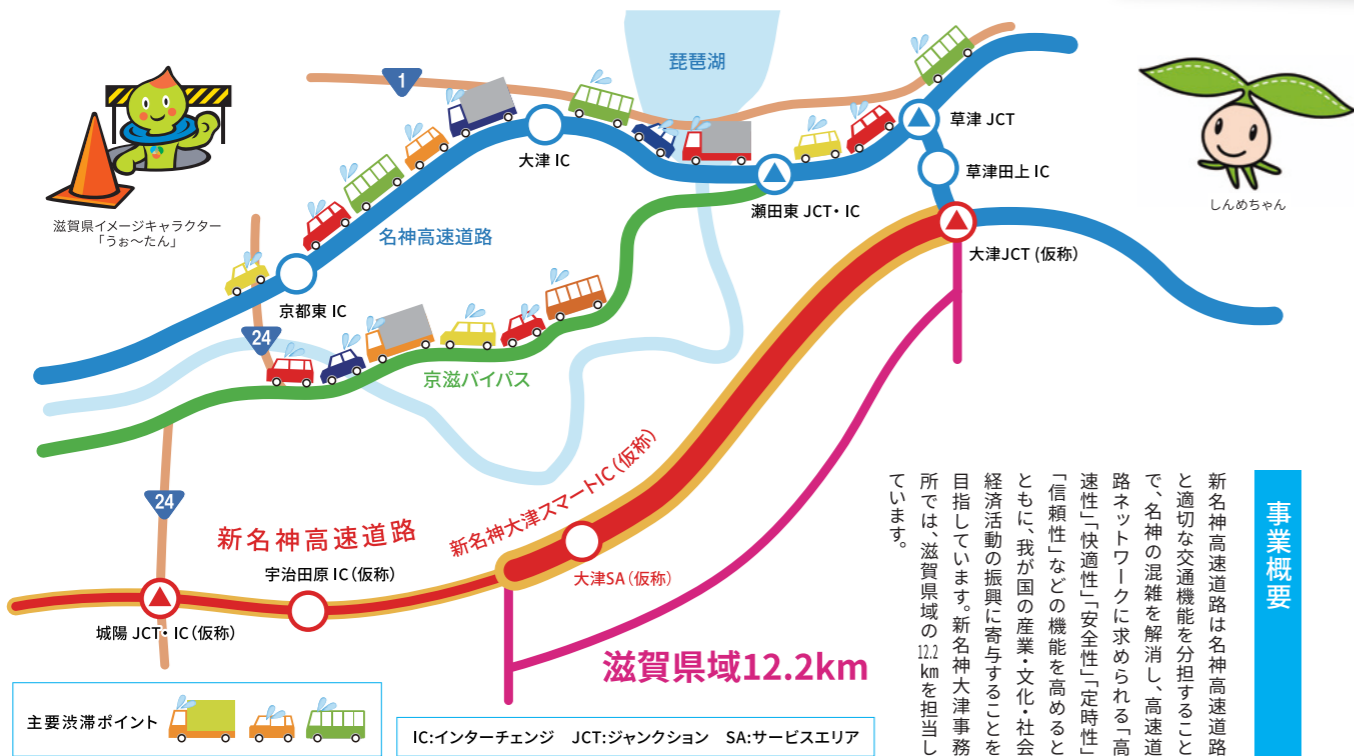


NEXCO西日本 新名神大津だより

◆高速道路建設の状況



◆各地区の進捗状況(平成27年9月1日現在)

完了 ◆ 実施中 ◇ 実施予定 □

区間		大津JCT～滋賀県域(12.2km)											
工事区		大津大石工事区(6.4km)				大津田上工事区(3.3km)				大津上田上工事区(2.5km)			
学区名		大石学区(6.4km)				田上学区(3.3km)				上田上学区(2.5km)			
自治会名(km)		小田原町	龍門町	中町	東町	関津	里	枝町	森町	羽栗	新免	中野町	牧町
事業説明会		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
設計協議		◆	◆	◆	◆	◇	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
幅杭設置			◇			◆					◆	◆	◆
地図訂正		◆	◆	◆	◇	◆	◆	◇	◇	◆	◇	◆	◆
用地取得											◇	◆	◆
埋蔵文化財調査		◇	◇	◆	◆	◆	◆	◇	◇	◇	◇	◆	◆

◆地域の皆さまへ



西日本高速道路(株)関西支社 新名神大津事務所長の赤松邦康でございます。平素は、新名神高速道路事業にご理解・ご支援を頂きありがとうございます。新名神高速道路が開通することで大都市間のネットワーク強化や巨大地震・豪雨などの災害に対する代替路確保にもなりますので、1日でも早い開通を目指して鋭意事業を進めてまいります。地域の皆さまにおかれましては、引き続きご理解・ご支援頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆路線特性

当該区間のサービスエリアには、スマートインターチェンジも併設して計画(平成26年8月連結許可)、構造物(橋梁、トンネル)比率は、約4割で山間部を通過する計画です。延長の約5割にわたり自然公園特別地域、砂防指定地及び保安林が指定されており、埋蔵文化財も点在しています。



上田上・中野地区の埋蔵文化財[法蔵寺遺跡]の調査状況  
大津市民憲章「豊かな文化財をまもりましょう」にならない、高速道路建設にあたっては、埋蔵文化財を調査し、保護につとめてまいります。

◆進捗状況

平成24年4月の事業許可を受けて、事業再開の地元説明会を平成24年12月に実施、平成25年2月から地図訂正のための現地境界確認、平成25年10月から地元設計協議を実施中です。設計協議が完了した地区から幅杭を打設し、用地取得に着手しています。また、各種調査設計や関係行政との手続きも同時に進めています。

本線工事に先立ち、工事用道路工事を発注しました。大津市南部の自治会で形成される大津市南部三学区新名神対策協議会においても、早期着工の気運醸成があり、一日でも早い開通を目指して、行政・地域と一体となって事業を進めています。また、地域の皆さまとの交流を図るために地域イベントに積極的に参加し、高速道路事業のPR活動を行っています。

「しが☆まなび☆発見!2015」に参加しました。

去る8月19日水曜日、ピアザ淡海(大津市におの浜)で開催された県下最大の夏休み親子向け学びのフェスティバル「しが☆まなび☆発見!2015」に参加しました。新名神大津事務所・滋賀高速道路事務所は、交通や防災、防犯への取り組みを紹介する「安心・安全ゾーン」にブースを設置。大人気のドライビングシミュレーターをはじめ、トンネルやアーチの仕組みについて学ぶ土木体験学習コーナー、高速道路で働く車を紹介する映像体験、パトロール隊に変身できる記念撮影コーナーなどを設けて、子どもたちに楽しみながら体験学習をしてもらいました。ブース内には、平成35年度完成予定の新名神大津スマートインターチェンジ(仮称)・大津サービスエリア(仮称)の模型も展示し、新名神高速道路に関するクイズラリーなど、高速道路事業のPRも行いました。イベント参加団体は72で、当日入場者は約1,600人。当ブースへの入場者は約800人と、たくさんの親子にお越しいただき、盛況のうちに幕を閉じました。



高速道路のパトロール隊に変身して記念撮影!



高速道路の運転が体験できるドライビングシミュレーターは順番待ちの大人気!



トンネルの仕組みやアーチの仕組みを学ぶ土木体験学習コーナー

そうだったのか! 高速道路

Q 高速道路の標識の文字の形が変わったってホント?



A そうだよ。より見やすい文字の書体になったんだ。



高速道路の標識の文字の書体(フォント)は、昔から「公団文字」と呼ばれる高速道路の標識用に独自にデザインされた書体が使われていました。まだ現在のように多様な市販フォントが普及していなかったことから、一字ずつ手作業でデザインして作成していました。(画数の多い漢字は、見えやすくするために画数を減らして簡略化したりしていました)しかしながら、今後高齢者ドライバーが増加することや、外国人観光客の誘致の取り組みも積極的に行っていくことから、これらに対応した「誰にでもより視認しやすい書体」に見直すことにしました。そして、さまざまな試験を行って、遠くからでも標識の文字がはっきり見えるようにと選ばれたのが、「ヒラギノ」という書体(和文フォント)です。NEXCO西日本では、今後もさらに安全・安心で快適な高速道路を目指して、さまざまな取り組みを行っていきたくと考えています。

